

船舶インシデント調査報告書

平成31年2月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成30年6月27日 11時00分ごろ
発生場所	静岡県焼津市石津浜東方沖 焼津港焼津南防波堤北灯台から真方位171° 2.5海里付近 （概位 北緯34° 49.7′ 東経138° 20.7′）
インシデントの概要	プレジャーボート J R三世号は、錨泊中、船外機が始動できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成30年7月10日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート JR三世号、5トン未満（長さ6.27m）
船舶番号、船舶所有者等	241-9357 静岡、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 5、視界 良好 海象：波向 南西、波高 約1m
インシデントの経過等	<p>本船は、船長1人が乗り組み、同乗者1人を乗せ、石津浜東方沖で錨泊中、船長が釣りを終えて焼津市焼津漁港小川地区に帰航しようとした際、船外機が始動できなかった。</p> <p>本船は、船長が海上保安庁に救助を要請し、来援した巡視艇にえい航されて焼津漁港小川地区に戻った。</p> <p>船長は、本インシデント後、機関整備業者がISCバルブ（IDOL SPEED CONTROL の略称で、アイドリングを調整するバルブ）を交換したところ、船外機が正常に運転できるようになったので、同バルブの作動不良によって船外機が始動できなかったと思った。</p> <p>本船は、本インシデント以前から、前進から中立にしてアイドリング状態にした場合に船外機が停止するなどの不具合が生じていた。</p>
分析	本船は、石津浜東方沖で錨泊中、船外機のISCバルブに作動不良を生じたことから、船外機が始動できなくなり、運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、石津浜東方沖で錨泊中、船外機のISCバルブに作動不良を生じたため、船外機が始動できなくなったことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 船外機に不具合が生じた場合、速やかに整備業者による点検及び修理を行うこと。 |
|--|---|